



本町は四方を急峻な山で囲まれた山岳地帯であり、総土地面積の90%以上を森林が占めます。しかし、長引く木材需要の低迷や就業者不足が続き、さらには豪雪地帯という厳しい環境にあることから、林業活動は落ち込んでおり、間伐・保育等が適正に実施されていない森林が増加しています。町では、これまで「林業成長産業化地域創出モデル事業」などを通して、林業を核とした地域振興の取組を行っていますが、改めて、森林の持つ機能、本町の森林・林業の課題と展望について、ご紹介します。

【問合せ】農林課 林業振興係 電話 0241-62-6220

木の町みなみあいづ
森林の声を聴く

南会津の森林の昔と今

昭和30年代、南会津地域は林業が最も盛んでした。

優良広葉樹材の生産地として、年間の素材生産量（販売のために作られた木材量）は約32万m³（東京ドーム約7個分）と非常に多く、林業従事者（伐採や植栽など林業に携わる人）も6,000人を超えていました。しかし、現在の素材生産量は約3万m³、林業従事者は200人前後と少なくなっています。

その背景には、戦後の復興による木材需要の急増があります。



町の木ブナの原生林

森林の持つ機能

林業が衰退すると、森林へはもちろん、私たちの暮らしにまで影響が及びます。具体的な影響に触れながら、森林の8つの機能についてお伝えします。

1 様々な生物を育む
「生物多様性保全機能」

森林には木だけでなく、草花などの植物、菌類、微生物、昆虫、鳥など様々な動植物が生息しています。森林は、これらの生物の生育・生息の場を提供しています。

2 地球温暖化を防ぐ
「地球環境保全機能」

産業活動や家庭生活によって、主要な温室効果ガスである二酸化炭素が増え、地球の気温が上昇していく「地球温暖化」が問題になっています。森林は二酸化炭素を吸収し、炭素を固定することにより、地球温暖化を抑える働きがあります。

3 災害から守る
「土壌保全・土砂災害防止機能」

木は、地中に根を張り、土が流されないよう斜面につなぎとめる働きをしています。山に木が生えていなければ、大雨が降ったときに山の土が雨で削り取られ、土石流が起き、重大な災害につながる可能性があります。また、木は台風など風による災害からも私たちを守ってくれています。

4 水を蓄える「水源かん養機能」

山の土は有機物や様々な生物によってスポンジのような構造をしているため、植物や建築物などに覆われていない裸地と比べて、雨水を地中に浸透させる力が約3倍もあります。山に降った雨は、その約半分が地下へとしみこみ、ゆっくりと河川に流れ出るため、川の水量を一定に保つ機能があり、洪水や渇水を防ぐことができます。

5 快適な環境を提供する
「快適環境形成機能」

森林は木の蒸散作用によって気温を低下させ、気温の変化を緩やかにする働きがあります。



きとね

みなみあいづ
森と木の情報・活動
ステーション



昨年4月に森林・林産業の拠点施設としてオープンした「きとね」。森林整備を担う事業者と、木材の加工・利用を担う製材所や木工所、工務店などが連携することで、町産材の供給・製造・商品化・販売に至る流れを構築し、地域経済を盛り上げています。

また、未来を担うこどもたちが木に触れ木と学び、木と成長してほしいという願いから、木育スペースを設けました。お気軽にご利用ください。

KITONE NEWS



SNSでも情報発信を行っています！ follow me!

11月11日 ピノキオ絵付けワークショップ

ピノキオづくりのお手伝いをしてくれるお友達を募集しています。絵付けされたピノキオは大きなクリスマスツリーとなり、12月にきとねで展示されます。作品はイベント終了後に返送されます。

参加費 無料 問合せ マスト・ジエパット
電話 0241-62-1600

11月26日 森の香りワークショップ

南会津の森から生まれた香りを使って、Xmasシーズンにもぴったりのアロマスプレーをつくりまします。お子さまから大人まで誰でも楽しめるワークショップです。

時間 午後3時～午後5時 参加費 無料
問合せ 一十八日 電話 050-1807-3591

きとね
Instagram
はコチラ

きとね
X(旧Twitter)
はコチラ

未来へつなぐ希望の森林づくり

第6回 ふくしま植樹祭 in みなみあいづ



9月3日、会津山村道場にて、第6回ふくしま植樹祭が開催されました。この植樹祭は、平成30年南相馬市で開催された全国植樹祭の理念を継承し、南会津地方では初めて行われました。事前申込で参加した約500人が、ブナやカエデ、ヤマザクラなどの苗木約2,000本の植樹活動と、動物と人との行動範囲を分ける「緩衝帯」を整備するため、細い木を切るなどの育樹活動に励みました。

開会式では、渡部町長が「参加者の皆さまには、心ゆくまで南会津町の自然を楽しんでいただきたい」と歓迎の言葉を述べました。また、田島第二小学校と伊南小学校の緑の少年団が参加。2017年度ミス日本みどりの女神の野中葵さん、本年度ミス日本みどりの大使の上村さや香さんなどのゲストの方々と一緒に活動しました。

6 癒し効果を生み出す
「保健・レクリエーション機能」
木が発散する揮発性物質は、健康増進に効果を発揮することが実証されており、気分転換や健康維持を目的とした森林セラピーやハイキングが注目されています。



また、樹幹によるちりやほこり、汚染物質の吸収、防音効果も備えており、快適な生活環境をつくる働きがあります。

子どもの頃に自然に触れる体験をすれば、学びに対する意欲向上につながることから、教育



8 文化伝承・教育の場として
「文化・教育機能」
森林の景観は日本人の自然観や伝統文化の継承において重要な要素になっています。

7 豊かな資源を生み出す
「物質生産機能」
森林は、木材のほかにはきのこ、山菜など様々な資源を与えてくれます。これらの資源は、適切に森林を管理することにより、この先もずっと生産ができる循環型資源として、私たちの生活を支えてくれます。

の場としての機能も期待されています。
赤ちゃんが一番心地よく感じるものは「人肌と木」と言われているほど、木は生まれたときから欠かせない素材になっています。赤ちゃんの頃から木を身近に感じ、木とともに成長することで豊かな心を育みます。
このように森林は重要な機能を多く持っています。林業は、私たちの生活に欠かせない森林を守り育てる仕事です。森林を適切に管理し、伐って、植えて、育てるサイクルの中で木を有効活用することが、森林を守ることに繋がります。



今後の展望
このことを踏まえ、南会津町における林業の課題は、森林の持つ機能を維持するために担い手となる「林業従事者を増やすこと」と森林や林業に関心を抱く人たちが増えるように「子どもの頃から木に触れ、木を学び、木と成長する流れをつくること」だと考えます。
これらの課題を解決するために次のことに取り組んでいきます。
1つ目は、将来の林業従事者が増えることを目的として、様々な媒体を通し、林業事業者や従事する方、林業機械などを紹介し、林業の魅力をお伝えしていきます。
まずは広報紙にて「南会津町の森林・林業」を毎月お伝えしていきます。
2つ目は、幼少期から木に触れる機会を提供するために「木育」にも力を入れていきます。木育は、子どもから大人まで幅広い世代を対象とした活動で、木についての理解を深めるだけでなく、鋭い感性や自然への親しみ、森林や環境問題に対する確かな理解の基礎を育みます。